



女子短大校舎

女子部校舎 (1961年・昭和36年)

明治大学は、1929(昭和4)年に専門部のひとつとして女子部を設置しました。女子部は戦時中に女子専門学校に改組され、新制大学発足後は短期大学に改組されました。女子部は日本初の女性弁護士を輩出するなど、社会に大きなインパクトを与えました。「女子部校舎」は短期大学校舎に引き継がれたため、戦後も「明治大学女子部」の名前を見ることができました。



明治大学 女子専門学校門標(1944年)

明治大学八丈島高校校舎 (撮影年不明)

明治大学は1950(昭和25)年から5年間、八丈島に付属高校を設置していました。300名を超える卒業生を輩出しましたが、1955(昭和30)年5月に都立八丈高校に吸収される形で廃止されました。



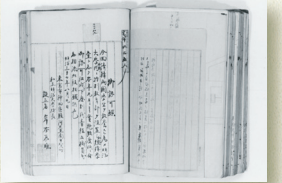
八丈島高校第2回卒業記念写真 (1952年)

経緯学堂校舎(錦町校舎) (1904年・明治37年)

1900年前後になると、多くの中国人・韓国人留学生が日本にやってきました。明治大学では、1904(明治37)年9月に彼らを対象とした私立経緯学堂を当時の錦町校舎に設置し、日本における主要な留学生受け入れ校のひとつとなりました。経緯学堂は1910(明治43)年に廃止されましたが、明治大学では、学力に応じて、彼らを明治大学(学部)、予科、専門部へ受け入れ続けました。



経緯学堂設置 認可申請書 (1904年)



明治大学が設置した多彩な学校

明治法律学校としてスタートした明治大学にとって、新学部・学科の増設や付属校・系列校の設置は、総合大学化の歴史として見るができます。例えば、理工学部と農学部の前身は、それぞれ東京明治工業専門学校(1944年)と明治農業専門学校(1946年)でした。今回は、多彩な設置校の一部を紹介します。

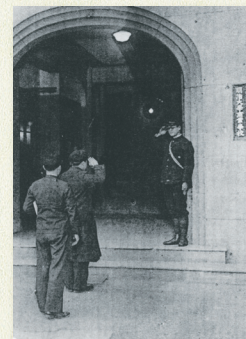
明治大学史資料センター 阿部 裕樹

目で見ると 明治大学の 歩み #74

明治大学史資料センター

明治大学商業学校校舎 (1938年・昭和13年)

明治大学商業学校は、昼間勤労者に実学教育を行うことを目的に、1930(昭和5)年に夜間の4年制学校として設置されました。旧制の実業学校にあたる課程で、卒業生に専門学校への入学資格が与えられたことから、さらに明治大学専門部などに進学することができました。戦争の影響により、1944(昭和19)年に学生募集停止となりました。



商業学校正門 (1936年)

